

日本社会医療法人協議会 ニュース

発行所：一般社団法人日本社会医療法人協議会 発行人：加納繁照

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-6-12

TEL/FAX：03-6261-0138 URL：https://nishakyo.or.jp/ E-mail：info@nishakyo.or.jp

制作：株式会社CBヘルスケア 〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル5F TEL：03-6435-9220

第40号

略称 日社協ニュース
令和8年7月31日発行

加納新会長を選出 臨時理事会



あいさつする加納繁照新会長

日本の医療を守るため社会医療法人が 頑張らなければならない時代になった

日本社会医療法人協議会は6月12日の臨時理事会で加納繁照副会長を会長に選出した。加納新会長は就任のあいさつで、「われわれ社会医療法人が日本の医療を守るため、一番頑張らなければいけない時期になった」と述べた。

公立病院の救急困り込みに 強い危機感を表明

日社協は、この日定時総会を開催。任期満了に伴い理事及び監事

が選出された。その後、新役員での役員改選を行い、加納新会長の他、副会長人事では、神野正博氏(財団董仙会)と伊藤伸一氏(大雄会)が再任されたほか、新たに石川賀

代理事(石川記念会)が選ばれた。役員の任期は2年。なお、西澤寛俊前会長から役員退任の申し出があり、名誉会長に就任した。

加納会長は就任のあいさつで、少子化と高齢化が同時に進む“2040年問題”を控えて日本の医療を守るため、「いよいよわれわれが社会医療法人として頑張らなければいけない」と強調した。

さらに、社会医療法人に関連する最近の動きとして、6月の診療報酬改定を挙げ「救急に関して、配慮されたのか余計厳しくなったのか分からないが制度が変わり、公立病院がやたらと救急医療を取り始めているという話を聞いている」と述べた。

加納会長はその上で、「(自治体の)救急隊が動くわけだから、自ずと“変な流れ”ができる。大阪でそういう事例が起こっている」と指摘した。そうした流れが出来上がれば、「救急医療」の業務を力

令和8年度事業計画

1. 社会医療法人の普及に関する事業

(1) 社会医療法人制度の再検討

- ①社会医療法人制度の実績基準の適正化
- ②医療計画・地域医療構想における社会医療法人のあり方
- ③認定要件7事業への対応

(2) 情報提供と広報活動

- ①機関紙の発行(年4回以上)
- ②ホームページの充実
- ③会員への情報伝達
 - 1) Eメールによる厚生労働省等からの社会医療法人及び開設医療機関に関連する通知、情報の伝達
 - 2) 会員増強と組織強化に向けた報告会の実施

(3) 研修事業

- ①社会医療法人トップマネジメント研修の実施
- ②その他社会医療法人の抱える課題とその解決策を中心とするフォーラムの実施
- ③eラーニング研修の実施

2. 社会医療法人の育成に関する事業

(1) 社会医療法人を取り巻く税制への提言

- ①社会保険診療報酬等の非課税に伴

う控除対象外消費税問題の解消

- ②社会医療法人の行う附帯業務の収益事業からの除外
- ③社会医療法人に対する寄付金税制の整備
- ④固定資産税等の非課税措置の統一と拡充
- ⑤社会医療法人認定取消し時の一括課税見直し制度の検証
- ⑥社会医療法人債の利息の非課税

(2) 社会医療法人経営の近代化及び安定化

- ①社会医療法人の事業継続に向けた公的支援についての提言
- ②医師の働き方改革への対応
- ③災害発生時の会員病院への対応および支援体制の充実

(3) 調査・研究

- ①社会医療法人の基礎的データの収集と運営に係る調査・研究
- ②その他社会医療法人に関する調査・研究

3. 医療関係団体との協力、連携

社会医療法人が抱える課題の解決に向けた四病院団体協議会、日本病院団体協議会等の病院団体及び日本医師会等医療関係団体との綿密な連携